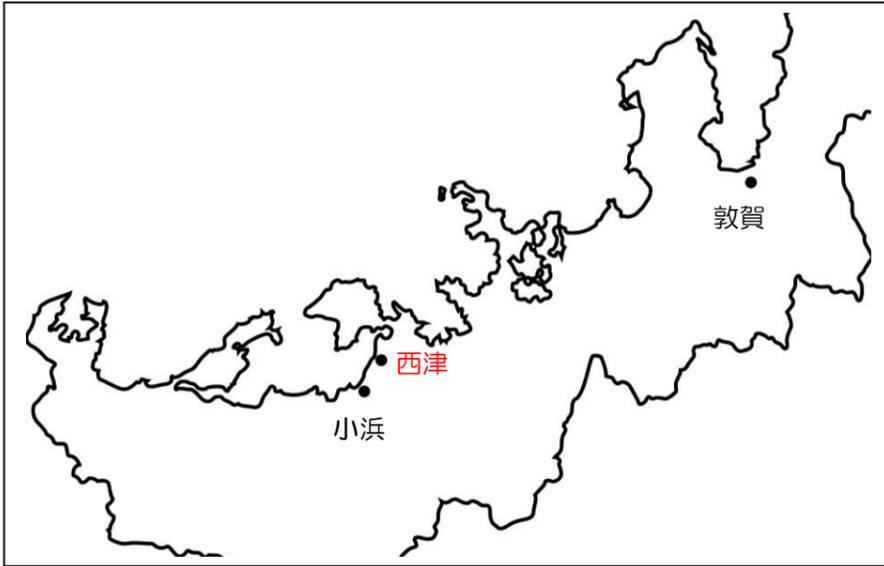


烈女つな



つなの舞台

つなは、小浜湾に面する、遠敷郡西津小松原に生まれ、西津の松見茂太夫家に奉公しました。

西津地区には、江戸時代に建てられた「忠烈綱女之碑」や、近代になってつくられた「綱女の石像」があります。



忠烈綱女之碑

小浜市西津地区湊にあります。『若州良民伝』によれば、石碑の銘は、小浜藩に仕えた儒者小野鶴山の撰になるものです。



つなの像

小浜市立西津小学校にある、つなの石像です。西津地区では、綱女顕彰会を組織し、例年7月の第一日曜日に顕彰祭を執り行い、つなのエピソードを語り継ぐとともに、墓地や石像の管理をしています。

小浜藩領内に知られるつな

江戸時代に小浜藩領であった、越前国敦賀郡沓浦に伝えられた覚書です。

つなの一件の概略とともに、つなの墓所を改葬すること、銀5枚を西徳寺に与え掃除等を任せること、角左衛門家の年貢を免除することなどを藩が命じたことが書かれています。つなをめぐるエピソードの広がりがうかがえます。

年末詳 山本宗右衛門家文書 M0506-00182

